

## 2 踏まれかたで植物のようすはどうか

交通量のはげしい道路に出てみましょう。舗装されていない道路でも、植物はまったく見られません。人通りがそれほど多くない道路では、道の中央部は植物がはえていない裸地になっています。

この裸地に沿って、带状に地面にふしたような形で、オオバコ・オヒシバ・ミチヤナギ・スズメノカタビラ・カゼクサ・ニワホコリなどが生育しています。

オオバコの葉は根ぎわから出て地面にはうように広がっていて、しかも、繊維が発達しているので、踏みつけに対して強いつくりになっています。

そして、道の両はしに近づくほど、車や人に踏まれる回数が少なくなるため、草たけの高くなる植物が多く生育しています。ヨモギ・ハルジオン・ヒメジョオン・ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク・カモジグサなど、せまい1本の道でも、その場所によって、植物の種類や生育状態がちがってきます。

路上や路傍の植物の種子のできる量は、きわめて多く、1個体あたり数千から数十万の種子をつくります。これらの種子は、風や人・動物などによって広く散



図-3 路傍のオオバコ（福島市瀬上）